

生徒指導だより「こころ」

平成28年11月7日(月)
NO. 12 文責 堀 晴昭

あいさつ強化の日

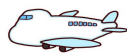
あいさつは生活の基本中の基本で、本校の生活面の合い言葉「あ(あいさつ)・そ(そうじ)・ふ(ふくそう)・じ(時間)・へ(へんじ)」の一つでもあります。本校の生徒のあいさつが今一つだったので、2学期は全職員で力を入れています。特に校長は朝早くから毎日正門に立ち、生徒とのあいさつを交わしています。その傍らで私もあいさつをしているのですが、よくなってきていますがまだまだです。というより個人差が大きいです。毎日大きな声であいさつができる生徒、だんだん大きくなってきている生徒、毎回声が小さい生徒と様々です。根気強くやっていきたいと思えます。生徒会の組織である「総務生活委員会」からも集会の折、次のような提案がありました。



毎月1日・2日・3日は 1 3 2 の日です。特に頑張りましょう!
あいさつ

ご家庭でも元気なあいさつを朝から交わしていただきたいと思えます。さて、ここであいさつに関する「振り子の法則」というある方の話を掲載します。ご一読ください。

私は、新幹線や飛行機に乗ったときに隣の人に心を込めて明るくあいさつをするようにしています。あいさつをすると、相手も自然に笑顔であいさつを返してくれます。まさにこれが「振り子の法則」です。これは、たんに物理的な現象のみにとどまるのではなく、世の中のあらゆる動きに通じています。あいさつは先にすることが大事で、世の中の事象は、すべて先手が勝ちであり、後手は負けなのです。



世の中、良いことをすると必ず返ってくると言われています。逆に、悪いことをすれば、これも自分に返ってきます。毎日を清く、正しく、美しく生活していきたいものです。

一流とは

どの世界にも一流の仕事をする人がいます。「一流」と言われたとき、みなさんは誰を想像しますか。では一流の人の仕事と、そうで

ない人の仕事とでは、どこに違いがあるのでしょうか。様々な見方や考え方はありますが、はっきりとした違いは、「日常の生活や仕事の中で、人としての基本的なことができている」ということです。人としての基本的なこととは、「あいさつができること」「期日や時間、約束を守ること」「物を大切に扱うこと」など多くの事柄が挙げられます。仕事や学校は、いろいろな人と関わりを持ちながら、力を合わせ、一つの物事を完成させていきます。互いに気持ちよく仕事や勉強ができるかが大切なことです。「自分さえよければ」「自分は好き勝手にやる」では、よい仕事はできません。確かに「我流」と言って自分ならではのやり方ですばらしい仕事をする人もいます。しかしそれだけでは「一流」とは言われません。みなさんが思い浮かべた「一流の人」はおそらく「人間性」もすばらしいのではないのでしょうか。日常生活の中で、人として当たり前前にことに磨きをかけ、「一流」と呼ばれる人を目指しましょう。

防災集会

11月4日(金)午前10時、熊本県下一斉のシェイクアウト訓練を実施しました。シェイクアウト訓練とは、3つの安全行動をその場で行うものです。

この日は、北部ブロック音楽会の日だったのですが、片付けの後に防災集会を行い、地震が起きたり、火災が起きたり、不審者が出たときに気をつけることなど1学期からこれまでにやってきた全ての訓練の振り返りと確認をしました。

不審者が出たとき

いか・・・行かない
の・・・乗らない
のおすし・・・大声を出す
し・・・すぐ逃げる
し・・・知らせる

火災が起きて逃げるとき

お・・・押さない
か・・・かけない
し・・・しゃべらない
も・・・戻らない

地震が起きたとき逃げる場所

お・・・落ちてこない
た・・・倒れてこない
すけ・・・滑ってこない
け・・・けがをしない 場所に避難

地震が起きたときの安全行動

- ①まず低く (DROP)
- ②頭を守り (COVER)
- ③動かない (HOLD ON)

連絡

先週とても寒い日がありました。自転車通学生も手が冷たかったことでしょう。本校は毎年冬場に限って手袋の着用を認めています。いつから認めるという期日は設定しません。「寒い・冷たい」と感じたら、**手袋をして通学をしまかまいません**。ただし、派手な色はご遠慮ください。また、女子生徒は気候や体調にあわせて**タイツを着用してもかまいません**。よろしくお願いいたします。

